第４回昭島市総合基本計画審議会
議事要旨

＜ 日 時 ＞　令和元年９月 13 日（金）19:00～

＜ 場 所 ＞　昭島市役所　３階　庁議室

＜出 席 者＞（敬称略）

【委員】

田中　啓之（会長／相模女子大学 人間社会学部長 社会マネジメント学科 教授）、中島　岩雄（昭島市自治会連合会 会長）、浅見　勇（昭島観光まちづくり協会 事務局長）、日惠野　貴之（昭島六団体連絡協議会 専務理事）、細谷　訓之（昭島市社会福祉協議会 事務局長）、水野　宏一（昭島市商工会 事務局長）、大田　眞也（昭島市医師会 常任理事）、杉田　一男（昭島市まちづくり委員会 委員）、山下　俊之（昭島市行財政改革推進会議 委員）、赤田　輝子（公募市民）、和田　容子（公募市民）

【事務局】

永澤貞雄（企画部長）　萩原秀敏（政策担当部長）　青柳裕二（企画政策課長）　滝瀬泉之（総合基本計画担当課長）　森田晃（企画調整担当係長）　田中一輝（企画政策係主事）

【策定支援事業者】

松岡宏（(株）地域総合計画研究所）　三浦洋平（(株）地域総合計画研究所）

【傍聴者】

１名

＜配付資料＞

資料１：基本構想の体系
資料２：４．まちづくりの視点
資料３：８．施策の大綱
参考１：基本構想の骨子
参考２：基本計画の骨子
参考　：第五次昭島市総合基本計画　前半期評価報告書（冊子）
参考　：昭島市市勢要覧 2019

＜議事要旨＞

１　開会

２　会長挨拶

会長：

ただいまから、第４回総合基本計画審議会を開会いたします。本日の審議に入る前に、前田委員、白川委員、鈴木委員、荒井委員、信行委員、松本委員、河村委員から欠席の連絡を受けておりますので、報告をさせていただきます。

次に、前回の審議会の議事要旨について確認したいと思います。何かお気づきの点等ございますか。ご指摘の点などないようですので、第３回審議会の議事要旨は審議会で確認されたものとします。

３　議題

（１）基本構想の体系について

【　事務局より基本構想の体系について説明　】

【　質疑　】

〇基本構想の体系について

会長：

「目標年次」と「将来人口展望」は、第五次計画ではどのあたりに記載されているか。

事務局：

計画書の 41 ページ「市の概要」で示している。基本構想の中では 17 ページ「策定の前提」で示している。

和田委員：

「目標年次」と「将来人口展望」は後段で示し、「構成」「まちづくりの理念・視点・目標」を前段に示すのがよいと感じる。

会長：

記載する項目としては第五次計画から大きな変更はない。「目標年次」と「将来人口展望」を新たに項目として立てるという認識でよいか。

事務局：

第五次計画では「策定の背景」も記載していたが、次期計画では基本計画の中で、人口ビジョンの内容とあわせて触れたいと考えている。

中島委員：

「２　構成」の④⑤にも「目標年次」「将来人口展望」と書かれているのはどういうことか。

事務局：

「２　構成」は、基本構想の構成（全体像）をわかりやすく示す項目として位置づけたいと考えている。

浅見委員：

「まちづくりの理念」は冒頭に示された方がよいのではないか。「位置づけ」と「まちづくりの理念」をあわせた形で冒頭に置き、その後「構成」と進むのがよいと感じる。

事務局：

一つの案として「位置づけ」の中に「まちづくりの理念」を盛り込むことも検討いただきたい。

中島委員：

「まちづくりの理念」と「まちづくりの視点」とは何が異なるのか。

事務局：

「まちづくりの理念」は、市としての根底となる考えで、人と人とのつながり、自然を大切にしていくということを示している。一方「まちづくりの視点」は、大綱を立て実際に事業を進めていく上での立ち位置、考え方の原則を示すものである。

赤田委員：

「将来人口展望」は、昭島市の今後を考える上でとても大事な部分であると思う。

水野委員：

「まちづくりの理念」「まちづくりの視点」とは何かの説明がないと、市民は混乱する。各項目の説明を、市民の方がわかりやすいように、かつ展開が見えるように示してもらいたい。

〇まちづくりの視点について

会長：

「まちづくりの視点」が決まると、これをどのように使いながら基本構想・基本計画の検討が進められるのか。

事務局：

基本計画の検討にあたっては、この「まちづくりの視点」に立った施策が設けられているかを検証していただくために必要になる。

中島委員：

第五次計画の評価において、「まちづくりの視点」はうまくいったといえるのか。

事務局：

「まちづくりの視点」は基本構想に示されるものである。第五次計画の評価を踏まえるというよりは、将来の昭島のあるべき姿を示すのが基本構想であると考えている。

中島委員：

基本構想がどういったものであるかは理解するが、これまで積み上げてきたものの中から

新しい発想が生まれるということもある。振り返ることも重要であると考えるが、それに関する資料が示されないことには意見を言うことも難しい。

浅見委員：

次期計画の「まちづくりの視点」としては、検討案のうち②案がよいのではないか。

和田委員：

同じく②案がよいと思う。③案は、何をやりたいかが明確でなくわかりづらい。

中島委員：

個人的にはこの３案に至ったプロセスが知りたい。これまで達成できていないもの、その理由が見えて、初めて視点が出てくるのではないか。積み重ねがあった上で②案がまとまったというなら納得がいくが、本日の資料ではその部分が見えてこない。

事務局：

達成できていないもの、またその理由については基本計画の中で詳しく示していきたい。

中島委員：

市側は根拠となったデータベースを持っているのかもしれないが、我々には提供されていないということを言っている。

会長：

具体的な内容は基本計画の中で示し、基本構想では枠組みを出すということではないか。この場では項目としてどうかというご意見をいただきたい。個人的には、③案で示した部分が大事ではと感じる。チェックできるかどうかということは重要になる。

細谷委員：

「まちづくりの理念」を実現するための切り口が「まちづくりの視点」であると理解するが、本日この場で決めなくてはならないのは、その項目立てをすることなのではないか。

和田委員：

③案について、「SDGs」「Society5.0」など、よくわからない言葉を前面に出してしまうとその説明が必要になる。誰が見ても理解できることを意識するのが重要ではないか。また、「多様性」はSDGsの中でも言われていることであるほか、「持続可能性」だけにSDGsの記載があることにも違和感を覚える。

中島委員：

③案は、言葉自身のくくりがかなり大きいと感じる。

山下委員：

第五次計画から「まちづくりの視点」を変えるにあたっては、これまで何がどう変わってきたかの評価がわからないことには検討も難しい。

和田委員：

とにかくコンパクトでわかりやすいものにしていただきたい。

会長：

②案は、網羅的でありながら過去も踏まえたものとなっている。本日委員の皆さまからいただいた意見としては、①案・②案のような表現がよいということと、過去がわからないことには意見が言いにくいということ。本日の意見を踏まえ、事務局にまとめをお願いしたい。

〇施策の大綱について

中島委員：

小項目の文言のレベル感が揃っていない印象がある。例えば６番目の「道路」「公園」などに比べ、５番目の「持続可能なまちづくり」などがかなり大きな話である。レベル感は揃えていただきたい。

浅見委員：

表現に問題はあるものの、大綱としてはよいのではないか。「自然環境」「地球環境」などは、漠然としすぎていてわかりづらいのではないか。

和田委員：

子育てをしている立場として、子ども子育てが大きな項目となるのはよいことと思う。４番目にある「図書館活動」は、３番目の子育て・教育にも含まれてよいのではないか。

山下委員：

基本計画の段階では、複数の大綱に関わる内容として記載ができるとよいのではないか。

事務局：

縦・横のつながりは出てくることが想定され、基本計画の中で詳細に検討していきたい。本日は分類で漏れがないか等のご意見をいただきたい。

浅見委員：

大綱の中の施策分野として、漏れがないかをチェックすればよいということか。

事務局：

資料３には、例示として小項目を記載させていただいた。本日は中項目の部分についてご意見をいただきたい。

山下委員：

中項目の表現は、第五次計画の方が文学的な印象がある。今回は事務的に項目が記載されているように感じられるが、これは意図的なものか。

事務局：

本日は整理のしかたとして示しており、今後、言葉の表現を含めて検討していきたい。

中島委員：

「まちづくりの視点」と「施策の大綱」との関係がわかりづらく、どのようにつながっているかが見えてこない。

事務局：

第五次計画５ページの表現でいうと、「まちづくりの視点」と「将来都市像」の間の矢印部

分に「施策の大綱」が入るイメージである。「施策の大綱」の内容に取り組むことで、「将来都市像」の実現に向かっていく。「まちづくりの視点」により「将来都市像」が達成されるということではない。

中島委員：

第五次計画には５つの「まちづくりの視点」と６つの「施策の大綱」があるが、これらは互いに結びつけることができるということか。また、次期計画においてもこれらの間のつながりは意識されるものなのか。本日の資料では、関係性がうまく説明されていない。

事務局：

視点を踏まえて大綱が成されているかということで、一つの視点と一つの大綱が組みになっているということではない。

会長：

次回審議会において、そのような資料があれば提示いただきたい。

会長：

大綱の６番目にある「道路」は「道路・歩道」などとするのがよいのではないか。また、近年の社会の動向からは買い物難民などにも触れられるとよい。

会長：

大綱の１番目にある「情報化」という言葉は古く感じられる。工夫していただきたい。

細谷委員：

小項目の字体に明朝とゴシックが混在して見られるが、何か意味はあるのか。

事務局：

第五次計画時の構成から今回変更となった項目をゴシックとしている。

細谷委員：

次期計画では文化に重きを置くということか。

事務局：

子育て・教育との中身のボリュームを踏まえ別立てとしたということはあるが、文化自体も重要な項目だと考えている。

和田委員：

小項目の並びはよく検討していただきたい。

浅見委員：

大綱の１番目に「情報化」とあるが、情報化はすべての分野に関係する内容である。安全・安心だけに特化したものではない。

会長：

IT の活用など、次期計画の特色の一つとして打ち出せるとよいのではないか。

山下委員：

情報化については中項目に入れることを検討してもよいかもしれない。

事務局：

ご意見を踏まえ、庁内検討委員会でも検討を進める。

４　その他

（１）次回の開催予定

事務局：

次回（第５回）開催は 10 月 11 日（金）19：00 からとする。

また、次々回（第６回）は当初より日程を変更し、11 月 11 日（月）の開催で調整を進める。

５　閉会